

平成28年度 第2回公立大学法人公立鳥取環境大学経営審議会 議事要旨

- 日 時 平成28年6月27日(月) 10:00～11:20
- 場 所 公立鳥取環境大学 大会議室(本部講義棟3階)
- 出席者 高橋一委員、河原正彦委員、今井正和委員、若原道昭委員、岡部哲彦委員、
林田英樹委員、藤縄匡伸委員、渡邊良人委員[8名/10名]
山崎安造監事、湯原裕子監事[2名/2名]
- 欠席者 山田憲典委員、吉田圭子委員

【議事】

1 前回議事要旨の確認

原案のとおり承認された。

2 審議事項

(1) 平成27年度決算について

河原副理事長から平成27年度財務諸表及び決算報告書等についての説明、山崎監事から監査報告があり、原案のとおり承認された。

<主な意見等>

- ・入学者の確保や経営面などは順調であるが、これからが大切な時期であると思うので、特色のある大学を目指し、前向きな施策を進めることを期待する。
→ 次期中期計画の策定に併せて検討していきたい。

(2) 平成27年度業務実績について

理事長から、平成27年度業務実績の概要について説明があり、原案のとおり承認された。

(3) 平成28年度補正予算について

理事長から、新たに決定した国際交流に係る経費などに係る平成28年度補正予算案件について説明があり、原案のとおり承認された。

(4) 翌年度以降の債務負担行為の案件について

理事長から、情報システムのアウトソーシングなどに係る債務負担行為案件について説明があり、原案のとおり承認された。

3 報告事項

(1) 平成28年度教学体制

理事長から、人間形成教育センターに新たに外国語担当の副センター長を置いた旨の報告があった。

(2) 岩美町との地域活性化等を目的とした協定の締結について

理事長から、岩美町との協定締結の経過等について報告があった。

(3) 近況報告

事務局山本企画監から、高校教員対象進学説明会の鳥取大学との共同開催など大学の近況

について報告があった。

<主な意見等>

- ・地元への就職者を増やすことを期待されていると考えるがどのような取組をしているか。
 - ・地元経済団体も努力する必要があると認識しているが、大学においても学生の地元への就職を推進してほしい。
- 県内の高等教育機関が連携し、地元への就職率を30数%から更に10%上げることを目標としてCOC+に取り組んでいる。今後、県内からの入学者を増やすこと、他の都道府県からの入学者に鳥取県に残ってもらうことを考えていく必要がある。例えば、県内出身者の授業料の減免や地域交流を通じて学生に鳥取県への愛着を深めてもらう等の取組が考えられる。

4 その他

次回審議会は10月を予定。

5 閉 会